

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称	DNA/RNA Lysis Buffer
コンポーネント名	
商品コード	ZYR社 商品コード:D7001-1-200
供給者の会社名称	フナコシ株式会社
住所	東京都文京区本郷2-9-7
担当部門	コンプライアンス管理部
電話番号	03-5684-5107
FAX番号	03-5802-5218
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬
整理番号	OTH0132V00 (2015/3/26)

2. 危険有害性の要約(以下、SDSは単一物質としての評価に基づき作成)

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物 分類対象外 可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む) 分類対象外 エアゾール 分類対象外 支燃性又は酸化性ガス 分類対象外 高压ガス 分類対象外 引火性液体 区分外 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類対象外 自然発火性液体 分類できない 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類対象外 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類対象外 金属腐食性物質 分類できない
健康有害性	急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入:気体) 分類対象外 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない 急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない 急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない
環境有害性	吸引性呼吸器有害性 分類できない 水生環境有害性(急性) 区分2 水生環境有害性(長期間) 区分2 オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
H319 強い眼刺激
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き
安全対策

保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
環境への放出を避けること。(P273)

応急措置

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P305+P351+P338)

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)

漏出物は回収すること。(P391)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

他の危険有害性
重要な徴候及び想定される非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
別名

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル	5%以下		(7)-172		9002-93-1

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし。

以下、該当する単一成分のSDSを記載する。

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状
の最も重要な徴候症状
応急措置をする者の保護

データなし

データなし

医師に対する特別な注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。

使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

棒状注水。
加熱されると分解して、腐食性又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項

密閉された場所に立入る前に換気する。
全ての着火源を取り除く。
環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
危険でなければ漏れを止める。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材
二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
眼に入れないこと。

接触回避
衛生対策

「10. 安定性及び反応性」を参照。
取扱い後はよく眼と手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

酸化剤から離して保管する。

安全な容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル	未設定	未設定	未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質
外観

物理的状態
形状

粘調液体

	色	淡黄色
臭い		データなし
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		7~9(5%aq soln)
融点・凝固点		-4°C
沸点、初留点及び沸騰範囲		120°C
引火点		251°C(CC)
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		0.000003mmHg(25°C)
蒸気密度		20.8(空気 = 1)(エチレンオキシドの付加モル数9の場合)
比重(密度)		1.0595(25°C、4°C)
溶解度		水、アルコール、アセトンに混和。ベンゼン、トルエンに可溶。石油エーテルに不溶。
n-オクタノール／水分配係数		4.86
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性		情報なし。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		情報なし。
危険有害な分解生成物		情報なし。
その他		
11. 有害性情報		
急性毒性		
	類推値 実測値 経口 経皮 吸入	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		分類できない。
		分類できない。
		データなし
		ウサギの眼に試験物質の10%液を0.1mL適用した試験(OECD TG405)において、刺激性(角膜混濁、虹彩炎、結膜の発赤と浮腫)が認められたが、症状は全て適用後7~21日にほぼ回復し、MMAS(AOIIに相当) = 68.7であった(ECETOC TR 48(2)(1998))ことに基づき、区分2Aとした。
		データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
吸引性呼吸器有害性		データなし
有害性その他		データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

魚類(ブルーギル)の96時間LC50 = 3mg/L
(ECETOC TR91,2003)から区分2とした。
急性毒性区分2であり、急速分解性がない
(BIOWIN)ことから区分2とした。

水生環境有害性(長期間)

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性
環境影響その他

情報なし。
情報なし。
情報なし。
情報なし。
データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその
地方の法規、条例に従うこと。廃棄処理中に皮膚
に触れたり、ガスや粉塵、蒸気やミストを吸入しな
いよう十分注意すること。

汚染容器及び包装

情報なし。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報
UN No.
Proper Shipping
Name
Class
Sub Risk
Packing Group
Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78,Annex II ,and
the IBC code.

IMOの規定に従う。
3082
ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE,
LIQUID, N.O.S.
9
III
Applicable
Not Applicable

航空規制情報
UN No.
Proper Shipping
Name
Class
Sub Risk
Packing Group

ICAO/IATAの規定に従う。
3082
ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE,
LIQUID, N.O.S.
9
III

国内規制

陸上規制情報
海上規制情報
国連番号
品名
国連分類
副次危険
容器等級
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質
航空規制情報
国連番号
品名

該当しない。
船舶安全法の規定に従う。
3082
環境有害物質(液体)
9
III
該当
非該当
航空法の規定に従う。
3082
環境有害物質(液体)

	国連分類	9
	副次危険等級	III
特別の安全対策 緊急時応急措置指針番号		171
15. 適用法令		
化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR法)		第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル 政令番号:408 1質量%以上を含有する製品。
消防法		第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類) 可燃性液体量が40%以下のものを除く。
船舶安全法		有害性物質
航空法		その他の有害物件
16. その他の情報		
参考文献		経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース ezCRIC 安全衛生情報センター GHS対応モデルMSDS
その他		◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。 ◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。 ◆表記の試験研究用試薬以外に本データシートを適用しないで下さい。 ◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。